



6年生のみなさんへ

祝 卒業

ご卒業おめでとうございます。

6年間、共に学んだ友達との思い出を胸に、

これからも笑顔いっぱい、夢に向かって進んでください。

よく学び、よく遊び 有意義な中学生生活を送ってください。

船橋市立一宮少年自然の家 職員一同

～宿泊室のエアコンと野外炊飯場の水道が新しくなりました～

1月から2月にかけて、自然の家では2つの大きな改修工事を行いました。1つめは2階、3階の宿泊室のエアコンを新しくしました。今まではエアコンの音が大きかったり、猛暑日にはエアコンが効きにくかったりということがありましたが、夏には冷房、冬には暖房と快適に過ごしていただけたと思います。春や秋は部屋の窓を開け、海風と澄んだ空気を思い切り吸ってください。

2つめは野外炊飯場の水道です。今までは水の出が細く水圧が弱かったりしましたが、それが解決し野外炊飯が快適にできるようになりました。美味しいカレーづくりに挑戦してみませんか。そして3月には食堂の照明をLEDに変える工事を予定しています。



宿泊室の新しいエアコン



野外炊飯場の改修した水道



一宮散歩



その14 ～芥川荘(あくたがわそう)～

一宮町の海岸周辺は明治時代から海水浴場があり、かつては別荘が多く立ちならび、夏は快適に過ごせる場所として知られていました。芥川荘は一宮川の河口付近にある旅館「一宮館」の奥にあり、大正5年(1916)の夏に、作家である「芥川龍之介」がこの場所に友達と宿泊をしていた建物であることから「芥川荘」と名づけられました。芥川龍之介は多くの文学作品を書いており、大正7年(1918)には「蜘蛛の糸(くものいと)」という児童作品を書いています。地獄に落ちた悪人がクモの糸にすがりついて上り、地獄からの脱出を試みるのですが「自分さえ脱出できれば」という欲を出したために、糸が切れて地獄に戻るというお話です。一宮町にゆかりのある作家、芥川龍之介の作品に触れてみませんか。



芥川荘の全景 (かやぶきです)

五感で感じ 共有する場所 船橋市立一宮少年自然の家

〒299-4303 千葉県長生郡一宮町東浪見7493-2

☎0475-42-5711 受付時間 9:00～17:00

☎0475-42-5712 □<https://www.funabashi-sizen.jp/>施設詳細は
こちらからXのフォローも
お願いします